

第74次 令和6年度印旛教育研究会 第三部会理科研究部提案資料（紙上提案）

1. 研究主題

理科学習における問題解決の力の育成
～生きて働く知識・技能の習得と活用を意識した学習を通して～

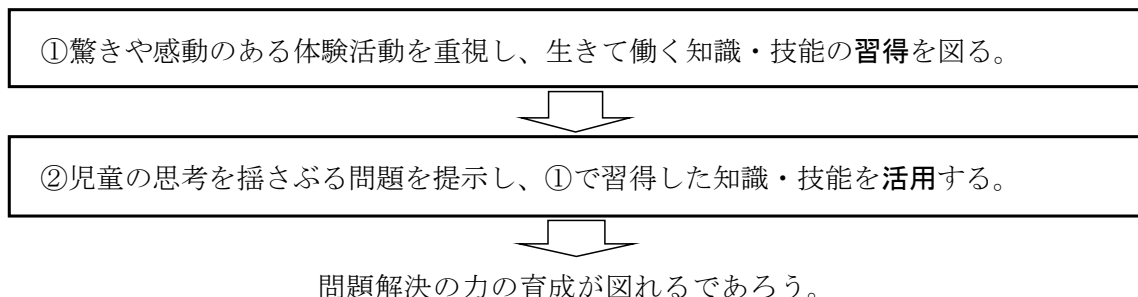
2. 主題設定の理由

2018年（平成30年）度実施された全国学力・学習状況調査では、理科の課題において指導改善のポイントとして、「学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活に適用できるようにする指導の充実」が挙げられた。また、2022年（令和4年）度の指導改善のポイントとして、「習得した知識を使って、日常生活との関わりの中で捉え直す場を設定することが大切である」とされた。

普段の理科学習でも、児童が新たな問題に直面し、予想や仮説を立てる場面において、既習事項や生活経験と結びつけて考えられない場合がある。

そこで、研究主題を「理科学習における問題解決の力の育成」、副題を「生きて働く知識・技能の習得と活用を意識した学習を通して」とし、問題解決の力の育成を考えた。問題解決の力は、学年ごとにそれぞれ示されているが、この研究でめざす問題解決の力は、前述した課題に挙げられる「既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力」と考えていきたい。

3. 研究の仮説



【仮説の手立て】

